

令和7年度

肢体不自由教育部門

中学部

第3学年

⑤学習グループ

年間指導計画

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		国語			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) 社会生活の中で目的場面に応じて多様な考えを整理しながら、伝える内容を検討することができる。 (2) 文章の種類とその特徴についてよく学び理解し、表現することができる。 (3) 進んで読書し、ことばがもつ価値を認識すると共に我が国の文化背景を学び適切な思いや考えを伝えようとする。				
担当教職員 *学校介護職員		巻島 圭子				
年間授業時数		108 単位時間				
使用教科書		光村図書出版				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	握手	8	(詩) 世界は美しいと（表現）評価しながら聞く (詩) 季節のしおり春			・いくつかの観点を意識し読み分け理解を深める。 1「現在」と「回想」 2文章から読み取る人物像 3場面ごとの握手の違い ・詩から読み取れるその時その時の気象にまつわるものや季節感を詠んだ言葉を取り上げ、表現の妙味を味わえるようにする。 ・当時の歴史的背景を具体的に学び、漢詩の中の人間、社会、自然について自分なりの意見が出せるようにする。 ・自分が体験した修学旅行の執筆材料を具体的にあげて、客観性や信頼性のあるものを選び活用できるようにする。 ・俳句の「季語」「有季定型」「歳時記」「切れ字」「自由律俳句」「無季俳句」の意味をしっかりと学び、鑑賞できるようにする。 ・「原爆」に関連する情報を学んでから詩を詠むことにより、理解を深める。 ・当時の中国の時代背景や魯迅の人物像を学び、この作品をより深く味わるようにする。 ・敬語など相手やバに応じた言葉遣いを学びなおし、適切に使うことにより、相手の話を上手に聞くことができることを理解する ・地域社会での情報を集め、それを元に具体的と抽象的なまとめ方や情報同士のすり合わせなど多角的な見方ができるようにする。
5	学びて之に習ふ 「論語」から	4	(説明) 情報の信頼性（表現）修学旅行記を編集する 漢字学習 (表現) 作られた「物語」を超えて			
6	説得力のある構成を考えよう	8	(表現) 思考のレッスン 漢字学習 (文法) 単語の活用、助詞・助動詞のはたらき（表現）実用的文章・報告文の比較			
7	俳句の可能性	8	(表現) 言葉を選ぼう（文法）和語・漢語・外来語（表現）読書を楽しむ（表現）「私の一冊」を探しにいこう（詩）季節のしおり夏			
9	故郷	13	(説明文) 挨拶（表現）聞き上手になろう（表現）論理の展開を整える（文法）慣用句・ことわざ・故事成語			
10	多角的に分析してかこう	12	(説明文) 人工知能と未来 漢字学習 (表現) 話し合いを効果的に進める			
11	夏草	12	(表現) 合意形成に向けて話し合おう（詩）初恋（詩）季節のしおり秋（和歌）和歌の世界（古文）君待つと			
12	誰かの代わりに	8	(古文) 名句・名言集（説明文）情報をよみとって文章をかこう漢字学習（文法）ないのちがい（小説）本は世界への道（詩）季節のしおり冬			
1	温かいスープ	8	(説明文) わたしを束ねないで			
2	三年間の歩みを振り返ろう	13	漢字学習 慣用句・四字熟語 和語・漢語・外来語 敬語の適切な使用 文章種類の選択と文章構成の工夫			
3	学習を振り返ろう	11	敬語・読書の意義・文章を読み自分の意見をもつ・詩歌・小説への批評・意見まとめ			
通年	文法への扉	3				

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	社会科			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1)日本の歴史の大きな流れや、経済・政治・国際社会の仕組みを理解する。 (2)資料から多面的・多角的に考察し、事実を正確に捉え、公正に判断し、適切に表現する力を養う。 (3)現代の社会的事象に対する関心を高め、よりよい社会を形成していくために自ら考えようとする態度を育てる。				
担当教職員 *学校介護職員	橋口 拓未				
年間授業時数	147 単位時間				
使用教科書	東京書籍2（705） 新しい社会 歴史、教育出版017(904)、中学社会 公民 共に生きる				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	<歴史的分野> 第6章 二度の世界大戦と日本	24	○第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢を理解する。		・複雑な日本と世界の間係を理解できるよう、短い動画などを適宜使用する。 ・社会での当事者意識を持つことができるよう、身近な話題を教材として使用する。 ・「公民」という分野が自らの生活と密接に関わるものであることを理解するため、実体験など想像しやすい題材を扱う。 ・小テストなどを行い、苦手な分野を把握して、重要語句を確認できるプリントを用意する。
5					
6	第7章 現代の日本と私たち	25	○冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。		
7					
9	<公民的分野> 第1章 私たちの暮らしと現代社会	17	○地理や歴史で学んできたことをもとに、私たちの暮らしや考え方に生じてきた様々な変化や影響を確認する。		
10	第2章 個人を尊重する日本国憲法	15	○憲法とは何か、なぜ憲法を学ぶ必要があるのかについて興味・関心をもつ。		
11	第3章 私たちの暮らしと民主政治	15	○民主主義という考え方のもつ意義や特徴を理解し、身近な暮らしの中で果たしている役割に気付く。		
12	第4章 私たちの暮らしと経済	13	○ものを交換することの意義や、その際に貨幣の果たす役割に気付き、身近な暮らしと経済活動とのつながりへの関心を高める。		
1	第5章 安心して豊かに暮らせる社会	13	○生まれてからこれまでの私たちの15年間の暮らしは、どのように営まれてきたのかを理解する。		
2	第6章 国際社会に生きる私たち	15	○国際社会が抱えている課題を捉え、「持続可能」な社会の実現に向けた取り組みが国際社会に求められていることに気付く。		
3	終 章 私たちが未来の社会を築く	10	○日本国憲法の平和主義に関する理解を深め、我が国の国際貢献のあり方について考えるとともに、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育てる。		
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		数学			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 (2) 事象を論理的に考察する力、数量や図形を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員		中村 保雄				
年間授業時数		140 単位時間				
使用教科書		学校図書「中学校 数学 3」				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	式の計算	18	○多項式の計算、乗法公式、因数分解			・ 予想したり、同じように考えたり、筋道を立てて考えたり、まとめて1つとみたりするなどの、数学的な見方や考え方を適宜強調する。 ・ 今までの学年で学んでいる内容で理解が十分ではないものに関しては、プリントや宿題等で復習を適宜行い、理解の定着を図る。 ・ パソコンやタブレット端末なども用いて視覚的な支援を行い、分かりやすく説明する。
5						
6	平方根	15	○平方根の大小、有理数と無理数、根号をふくむ式の計算			
7	2次方程式	15	○2次方程式とその解、2次方程式の解の公式			
9	関数 $y = ax^2$	18	○2乗に比例する関数、グラフ、いろいろな関数			
10	相似な図形	22	○相似な図形の性質と条件、平行線と線分の比、相似な図形の面積比・体積比			
11						
12	円	12	○円周角と中心角、円周角の定理			
1	三平方の定理	14	○三平方の定理、三平方の定理の利用			
2	標本調査	9	○全数調査と標本調査、推定			
3	1年間の振り返り	17	○3年生で学んだ内容の振り返り			
通年						

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		理科			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) 自然の仕組みや現象への関心を育み、疑問やアイデアなどをもち、主体的に思考する。 (2) 自然の仕組みや現象への理解を深め、科学的に探究する能力を育てる。 (3) 人間と自然のかかわり方について自分の考えをもてるようになる。				
担当教職員 *学校介護職員		柳堀 拓也				
年間授業時数		140 単位時間				
使用教科書		啓林館 「未来へ広がるサイエンス3」				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	化学変化とイオン	12	○水溶液とイオン、化学変化と電池 ◆電解液の仕組みを理解する。 ◆イオンを理解する。			化学変化の基本的な概念や原理・法則などを観察や実験、イオンのモデルと関連付けながら、実際に体験し理解を深めていく。
5		12	○酸、アルカリとイオン ◆酸・アルカリの性質を知る。 ◆中和と塩について理解する。			
6	生命のつながり	16	○生物の生長と増え方 ◆細胞分裂と成長を関連付けて考える。 ◆有性、無性生殖の特徴を理解する。			観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と増え方について特徴や規則性を見出し、見識を広める。科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動などが充実する機会をもつ。
7		8	○遺伝の規則性と遺伝子 ◆遺伝の仕組み、規則性を理解する。 ◆遺伝子の働きを理解する。			
9	自然界のつながり	12	○生物同士のつながり ◆生物間のつながりを考える。 ○自然界を循環する物質 ◆生物と自然環境との循環を理解する。			
10	運動とエネルギー	16	○力のはたらき ◆力のつり合いを説明できる。 ◆力の合成・分解ができる。 ○物体の運動 ◆力と運動の変化の関係を理解する。			
11		16				
12		12	○仕事とエネルギー ◆力学的エネルギー保存を理解する。 ◆エネルギーの利用方法を知る。			
1	地球と宇宙	12	○天体の1日の働き、1年の働き ◆地球の自転・公転を理解する。 ○月と惑星の運動 ◆太陽や惑星、月の特徴を理解する。			観察、実験や科学資料集や文献の図版などを用いて、結果や資料を分析して解釈し、身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、宇宙についての基本的な概念や原理・法則を見出し、見識を広める。
2		16	○太陽系と銀河系 ◆太陽系の広がりを知る。 ◆宇宙の観察されている現象を知る。			
3	地球の明るい未来のために	8	○自然環境と人間のかかわり ◆自然のめぐみと自然災害を学ぶ。 ○くらしを支える科学技術 ◆技術発展と環境への影響を理解する。 ○大切なエネルギー資源 ◆環境保全の重要性を理解する。			身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について理解を深める。

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	音楽			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1) 音楽の幅広い活動を通し、音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。 (2) 演奏方法を創意工夫しながら、演奏や合奏をする力を付ける。 (3) 鑑賞などを通して、音楽文化への理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員	早坂 あまね				
年間授業時数	38 単位時間				
使用教科書	教育出版 「中学音楽1 音楽のおくりもの」「中学音楽2・3上下 音楽のおくりもの」「中学器楽1-3 音楽のおくりもの」				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	楽典	4	○楽典 ○「くいしんぼうのラップ」 ◆音符や休符の長さの違いやシンコペーションを理解し、リズムパターンを作ることができる。 ◆様々なリズムで掛け合いをすることができる。		拍を叩いたり、記号を細かく分解する。 ・カードを使い、視覚的に分かりやすくする。
5	歌唱	4	○歌うための準備 ○「ラバーズ・コンチェルト」 ○「主は冷たい土の中に」 ◆身体をリラックスさせ発声することができる。		・身体を温めるため、ストレッチを行う。 ・正しい発声をするため、姿勢を整える。 ・範唱を聴く。
6	鑑賞	5	○「春」第1楽章 ◆楽曲の雰囲気、表現を感じ取ることができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。		・ヴィヴァルディの有名な楽曲を鑑賞し、作曲家理解を深める。
7	歌唱	4	○「ラバーズ・コンチェルト」 ○「夏は来ぬ」 ◆歌詞の意味や示されている情景を想像して歌唱表現することができる。		・歌詞の意味を理解するため、ICT機器を使用し、調べ学習を行う。
9 10	合奏 鑑賞	6	○「茶色い小瓶」 ○「Sing Sing Sing」 ◆楽曲や歴史を学びジャズに興味をもつことができる。 ◆友達とタイミングを合わせて曲を完成させることができる。 ◆楽譜を見て、工夫して演奏することができる。 ○「魔王」 ◆物語の内容や歌詞を理解し、表現を感じ取り鑑賞することができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。 ◆ドイツ語の曲に興味をもつことができる。		・有名な楽曲を観賞する。 ・楽譜を見やすくするため、印を付ける。 ・日本語とドイツ語の曲を聴き比べる。 ・有名なドイツ語の曲を鑑賞する。
11 12	合唱	6	○「あくびのうた」 ○「マイパレード」 ◆曲想の違いを感じ取って表現を工夫することができる。 ◆音色やハーモニーを捉えながら合唱表現をすることができる。		・ストレッチをしっかりと行う。 ・パートごとの音取りを繰り返し行う。 ・強弱記号に印を付け、分かりやすくする。
1	鑑賞	4	○西洋音楽史 ◆作曲者や有名楽曲から特徴を捉えクラシックへの理解を深めることができる。 ○「カルメン前奏曲」 ◆物語の内容を理解し、舞台での表現を感じ取り鑑賞することができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。		・日本の歴史と比べられる年表を使用する。 ・関連図を使用し物語を分かりやすくする。
2 3	合唱	4	○「犬のおなか」 ○「翼をください」 ◆ブレスや強弱、フレージングを意識して歌唱することができる。 ◆曲想の違いを感じ取って表現を工夫することができる。		・ストレッチをしっかりと行う。 ・パートごとの音取りを繰り返し行う。 ・強弱記号に印を付け、分かりやすくする。
	一年間のまとめ	1			・見通しがもてるよう授業全体の流れを呈示する。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		美術			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作る。 (2) 様々な素材や道具を使って、楽しんで創作する。 (3) 綺麗なものの美しいものに興味を向け、自分の見方や感じ方を広げる。				
担当教職員 *学校介護職員		門脇 早坂				
年間授業時数		35 単位時間				
使用教科書		日本文教出版「美術2, 3」				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	色彩の仕組み 【絵画】四季の風景	15	○一年間の授業で生かすことができる 色彩について知識を深める。 ◆色相環や色相、彩度、明度の効果に分かる。 ◆ワークシートに取り組み、色彩の効果等に関心をもつことができる。 ○様々な技法を知り、自分にイメージに合った方法で作品を作る。 ◆成形の基本的な技法を身に付ける。 ◆制作過程に見通しをもち、適切な技法を判断して作る。 ◆自他の作品に興味をもって鑑賞できる。			・生徒の個別の実態を把握し、今後の授業に生かせるように丁寧に指導する。
5						
6	【工芸】 (陶芸)					
7						
9	【工芸】 (陶芸)	15	○コラグラフの技法を知り、版を使った方法で作品を作る。 ◆素材の持つ質感から、テクスチャーをイメージしながら平面を構成することができる。 ◆制作過程に見通しをもち、適切な技法を判断して作る。 ◆自他の作品に興味をもって鑑賞できる。			・作る作品についてタブレット端末を用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。
10						
11	【版画】 コラグラフ					
12						
1	【デザイン】 (オリジナル時計の制作)	5	○イメージに合わせて実用的な時計のデザインをし、作品を仕上げる。 ◆完成予想図をもち、イメージに合わせた制作ができる。 ◆色彩の効果（視認性など）について配慮した上でデザインを考え、制作できる。			・作る作品についてタブレット端末を用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す。 ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。
2						
3						
通年	鑑賞					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		保健体育			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) 運動の特性に応じた技能等及び、自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見つけ、その解決に向けて自ら思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員		高橋 大幸				
年間授業時数		38 単位時間				
使用教科書		中学保健体育				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	体育祭に向けて 陸上競技・球技	9	○集合、整列、集団行動			・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。
5			○課題走球技など			
6	水泳	7	○水慣れ、浮き身、泳法指導			・室温、水温、WBGTを管理し、安全に入水できるようにする。 ・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化できるようにする。 ・個に応じた課題を設定する。 ・ICT機器を使用する。 ・実態や課題に合わせてグルーピングをする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。
7	保健「傷害の防止」		○傷害の発生要因 ○交通事故の発生要因 ○交通事故の危険予測と回避 ○犯罪被害の防止 ○自然災害による危険 ○応急手当と心肺蘇生方			
9						
10	集団行動・マスゲーム ダンス	12	○集団行動・ダンス			・集団行動として、友達と協力する場面を設定する。 ・集団や空間を意識できるように、集合したり整列したりする。・各種運動ごとに学習プリントを使用し、ルールや競技方法、自己評価、次時の目標を振り返ることができるようにする。 ・動画等で手本を見たり、ICT機器を使用したりする。
11	保健「健康な生活と疾病の予防」		○生活習慣病の起こり方 ○がんの予防 ○喫煙、飲酒、薬物乱用の害と健康 ○薬物乱用の社会的な影響			
12						
1	生涯スポーツ・武道	10	○生涯スポーツ ○剣道：基本動作・面・小手			・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化できるようにする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。
2	保健「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」		○運動やスポーツの効果 ○運動やスポーツの安全な行い方			
3						
通年	性教育		○心身の発達と心の健康			・男女の心身の特徴を基に、お互いを受容する態度を育成し、望ましい人間関係を築けるよう授業を展開する。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	技術・家庭			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1) 社会や生活、自立に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 社会生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、表現するなどして、課題を解決する能力を身に付ける。 (3) 社会生活を大切にする心情を育みながら課題解決に主体的に取り組み、社会の一員として生活をより良くしようとする実践的な態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	保呂草健 並木美由紀				
年間授業時数	37 単位時間				
使用教科書	技術 開隆堂「技術・家庭 技術分野」 家庭 教育図書「New技術・家庭 家庭分野」				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	指導上の工夫	
4	○生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ○エネルギー変換の技術による問題解決 ○社会の発展とエネルギー変換の技術	12	○身の回りのエネルギー変換の技術 ○発電の仕組みと特徴 ○電気回路の仕組み ○電気機器を安全に使用するための技術 ○運動エネルギーへの変換と利用 ○エネルギー変換の技術の最適化	・身の回りの製品に込められた技術や技術の発達について調べさせ、技術分野の学習への関心を高める。 ・安全に気を付けて実習を行う。 ・具体物を教材に活用して理解を促す。 ・様々な情報コンテンツを活用して興味関心を高める。	
5					
6					
7	○生活や社会を支える情報の技術	7	○身の回りの情報の技術 ○コンピュータの仕組み ○情報のデジタル化 ○情報通信ネットワークの仕組み	・ICT具体物や視覚支援を利用する。 ・実際の操作や事例紹介や実習などを通して、理解や思考の支援を行う。	
9					
10	○食生活を豊かにするために ・日常食の調理 ・1日分の献立作成 ・食品の選択	12	調理の基礎技術（計量器具の使い方、調理道具の使い方） 日常食の調理（洗う、切る、調理、片付け） 献立作成の基礎 生鮮食品や加工食品の種類、特徴	・安全と衛生に気を付けて実習を行う。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策と一緒に考えながら実習を進められるようにする ・絵カードやパワーポイントなどで視覚的に分かりやすくする。 ・自分の生活と結び付けて考えられるようにする。	
11					
12					
1					
2	○衣生活と自立 ・衣服の手入れ	6	衣服の手入れ（汚れの種類、繊維の種類） 洗濯（洗剤の種類、洗濯機の使い方）	・見本や資料を提示し、視覚的に分かりやすくし、見通しがもてるようにする。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策と一緒に考えながら実習を進められるようにする。	
3					
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		外国語			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) 英文の形・意味・用法を理解し、日常的な話題について英文の概要を捉える技能を身につける。 (2) 話の内容を把握して適切に応答するために、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、英語で話をしたり文章を書いたりする。 (3) 日常的な話題や社会の話題、文化などについて、主体的に英語を用いて伝え合おうとする。				
担当教職員 *学校介護職員		梅津 かおり				
年間授業時数		140 単位時間				
使用教科書		東京書籍 NEW HORIZON3				
月	単元(題材) 名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	Unit0 Discover a New Side of Classmates	11	現在形、過去形、becauseなどを用いた文の理解をもとに、夢中になっていることやよくすること、その理由などを伝え合うことで既習事項の復習をする。			・英語で簡単な挨拶をしたり、やさしい指示を聞いて行動したりすることに慣れるよう、毎時の授業で定型表現を用いる。 ・視聴覚教材を活用して、音声と文字が結びつくようにする。 ・授業の始めに英語の歌を扱い、ネイティブの発音やイントネーションにふれる。 ・学習内容の理解の定着を図るため、プリントやワークを用いる。 ・ALTによる授業では、発音に慣れるとともに、自信をもって発言できるような雰囲気作りをする。
5	Unit1 What is special about Japanese pop culture?	12	現在完了(経験用法)、SVOC、SV00(that節)の文を理解し、経験や人の気持ちや状態の変化、人や物が私たちに伝えることについて伝え合う。			
6	Unit2 How do you choose your clothes?	12	現在完了形(完了・継続用法)、現在完了進行形を理解し、今の状況や続いている状態や動作についての情報を尋ね合う。			
7	Unit3 How can we save animals?	11	It is ... (for+人など)+to、want+ (人など)+to、let (help)+ (人など)+ 動詞の原形の文を理解し、人にとって大切だと思うことや人にしてほしいことなどについて伝え合う。			
9	Let's Read1 A Mother's Lullaby	12	場面や人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って場面的変化や登場人物の心情を読み取る。			
10	Unit4 How can we help each other in a disaster?	12	関係疑問文とSV00(what節)の文、現在分詞・過去分詞の文を理解し、何かを知っていると伝えたり、言葉に情報を加えたりして、事実や気持ちを話す。			
11	Unit5 What makes a good leader?	12	名詞を修飾する文、関係代名詞 who , that (which) (主格・目的格)を理解し、言葉に詳しい情報を加えて、どのような人か、どのようなものかを話す。			
12	Unit6 What does it mean to be a global citizen?	11	仮定法と主語を説明する関係代名詞を理解し、現実とは異なる願い事やできたらよいと思うことを伝え合う。			
1	Let's Read2 Power Your Future	11	長所と短所を比較して述べる文章の構成の理解をもとに、エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べる。			
2	Let's Read3 Coloring Outside the Lines	11	人物について書かれた伝記の文章構成の理解をもとに、その人物の歩みと功績を読み取る。			
3	1年間のまとめ	15	既習事項の復習を行い、学習内容を確認・復習をし、			
通年	ALTとの英語でのやり取りを中心にした学習	10	・ALTと英語でやり取りする。・他国の文化に触れる。			

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		道徳			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) 集団や社会でのルールやマナーなどについての理解を深める。 (2) 自分や他の人に対する理解を深め、考えや意見を自ら表現する。 (3) 自然や崇高なものに興味をもち、理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員		西坂 千恵美				
年間授業時数		36 単位時間				
使用教科書		きみがいちばんひかるとき 1・2・3年				
月	単元(題材) 名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	A [向上心、個性の伸長]	3	○自己紹介、他己紹介 ◆自分の興味や関心について考える。			自己を見つめ、事故の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。
5	B [相互理解・寛容]	8	○グループエクササイズ、コミュニケーションゲーム ◆お互いを認め合う心を育てる。			自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。
6						
7	A [真理の探究、創造]	2	○課題や問題点に対して自分なりの意見をもち、伝える。 ◆答えが一つではない問題について考え、自分の意見をもつ。			真実を大切にし、審理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。
9	C [遵法精神、公德心] あすを生きるⅠ	3	○インターネット使用時のルールや著作権について知る。 ◆法やきまりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。			法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい 在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある 安定した社会の実現に努めること。
10	B [礼儀の心] あすを生きるⅠ	4	○礼儀、マナーについて考え、話し合う。 ◆あいさつの意義を理解し、場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。			礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。
11	D [生命の尊さ] きみがいちばんひかるときⅠ	4	○命の尊さについて自分の意見を発表し、友達と話し合う。 ◆生命のかけがえのなさを理解し、生命を大切にしようとする態度を育てる。			生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、 かけがえのない生命を尊重すること。
12	A [希望と勇気、克己と強い意志]	2	○グループ学習発表練習 ◆困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げる気持ちを育てる。			より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗 を乗り越えて着実にやり遂げること。
1	C [国際理解、国際貢献]	3	○SDGsについて学び、考える。 ◆国際的視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。			世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、 世界の平和と人類の発展に寄与すること。
2	C [勤労]	4	○疑似仕事体験 ◆働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を育てる。			勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、 勤労を通じて社会に貢献すること。
3	B [思いやり、感謝]	3	○1年間の自分を振り返る ◆多くの人によって支えられ、守られていることに気付き、感謝する態度を育てる。			思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の 善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、 人間愛の精神を深めること。
通年						

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		総合的な学習の時間			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい		(1) 自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2)) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協同的に取り組む経験を積む。				
担当教職員 *学校介護職員		早坂あまね、高橋 大幸、西坂千恵美				
年間授業時数		81 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	自己紹介 今年度の目標設定	5	自分のことを自分の言葉で紹介する。 自己の目標、グループの目標を設定する。			(1) 自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協同的に取り組む経験を積む。
5	校外学習（事前学習）	8	国会議事堂についての調べ学習・発表 しおり作成			
6						
7	校外学習（事後学習） 情報リテラシー学習	10	校外学習で学んだことをまとめる。 情報リテラシー、SNSの使い方 インターネットの適切な使い方を身に付ける。			
9						
10	防災マップ作り	8	学校周辺の防災マップを作成し防災についての知識を深める。			
11	AEDマップ作り	10	AEDの使い方を理解する。 学校周辺のAEDの設置場所を調べ、マップにする。			
12						
1	ビジネスマナー 買い物学習	8	職場体験学習に向け、礼儀、マナーについて考え、話し合う。 公共施設を利用するときのマナーを学ぶ。			
2	進路学習	8	人生予想図作成 適正把握 高校、大学、職業についての調べ学習 高校や大学、職業について学び、自分に合った進路について考える。			
3						
通年	栽培活動、読書活動	24	作物や植物を栽培する。学校図書館を利用する。			

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	特別活動			学習グループ名	中③
目標・ねらい	(1) 学習や活動に工夫して取り組む楽しさを知る。 (2) 身近な仲間を意識し、協力し合う方法を考えながら学校生活を送る。 (3) 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。				
担当教職員 *学校介護職員	柳堀 拓也 並木 美由紀 門脇 美江 宮川 亜美 早坂 あまね 小原 瑞騎 *熊谷直幸 *高野悦子				
年間授業時数	38 単位時間				
使用教科書					
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション	1	○行事や学習内容に関するオリエンテーション。 ◆学校生活に見通しや期待感をもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	新入生歓迎会	2	○活動内容について意見を出し合い、協力して準備をする。 ◆新入生歓迎会の準備を行い、1年生を温かく迎える。		・出し物に見通しをもてるよう、どんな活動があるか例示する。
5	体育祭	4	○体育祭の競技種目を知る。 ○体育祭の競技種目を体験し、互いに励まし合い、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち参加する。		・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
6	修学旅行	4	○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。 ○修学旅行に向けて事前準備をする。 ○修学旅行を終えて頑張ったことなどを発表する。 ◆修学旅行について見通しをもつ。		・見学先の写真や映像などの資料を用意する。 ・他の学習グループの仲間とコミュニケーションがとれる場面を設定する。
7	1学期を振り返って	1	○発声やスイッチなどの方法で主体的に発表する。 ◆1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。
9	2学期の予定	1	○2学期の主な行事予定を確認する。 ◆2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	卒業制作①	5	○卒業制作（オリジナル時計作り）に取り組む。 ◆時計のデザイン選びやフレームの色付けなどを教員と一緒に取り組むことができる。		自分でデザインや色を選択することができるように二択で提示する。個々の特性に合わせた補助具を使用して製作する。
10	墨東祭へ向けて	9	○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○発表の練習をする。 ○小道具や背景などを作成する。 ○墨東祭を振り返る。 ◆発表の練習や道具の制作、見通しをもち主体的に参加する。		・自分なりの方法で活動できるよう支援具を工夫したり、繰り返し練習したりし、見通しをもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりできる活動を設定する。
11					
12	2学期を振り返って	1	○2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。 ◆2学期を振り返り、頑張ったことについてお互いに発表し合う。		・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。
1	3学期の予定	1	○3学期の主な行事予定を確認する。 ◆3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
2	卒業制作①	5	○卒業制作（オリジナル時計作り）に取り組む。 ◆時計のデザイン選びやフレームの色付けなどを教員と一緒に取り組むことができる。		自分でデザインや色を選択することができるように二択で提示する。個々の特性に合わせた補助具を使用して製作する。
3	卒業に向けて	4	○卒業式の練習に参加する。 ◆卒業式に向けて、式へ参加する心構えと見通しをもつ。		・見通しがもてるように、絵カードを提示したり、言葉掛けをしたりする。
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動			学習グループ名	中⑤
目標・ねらい	(1) 障害による学習上、生活上の困難を知り、改善する。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力を付ける。 (3) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動をすすんで行う。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね 佐伯かおり 齋藤篤彦				
年間授業時数	71 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
通年	身体の取り組み コミュニケーション	71	・ストレッチ ・姿勢変換(臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いすへの移乗など) ・姿勢保持(座位、膝立ち、立位など) ・歩行練習 ・手指の操作性を高める取り組み ・全身の連動性を高める取り組み ・視機能を高める取り組み ・コミュニケーションゲーム		・身体の取り組みを行う際には適切な指導を行えるよう、個々の身体の状態を細かく把握し、共有する。 ・日々の生活において自分自身で行えるような活動を外部専門員と相談し、決定する。 ・正しいコミュニケーションの方法や言葉遣いの例示を行う。